

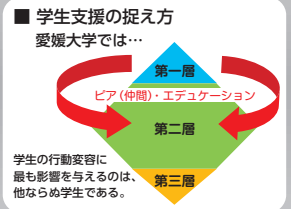


# 愛媛大学 ELS リーダーズ・スクール

組織の目標達成のために責任を持って行動し、大学の活性化や社会づくりに貢献する学生リーダーを輩出します

ELS の取り組みは、「学生リーダーや将来リーダーになり得る学生を支援・教育することで、人間的成長の促進、一般学生を率いることによる大学の活性化、社会におけるリーダーシップ発揮による社会貢献を目指す」ことを目的として平成 19 年度から始めました。

ELS は、①リーダーシップに関する理論とスキルを体系的に学ぶ ELS セミナール、②リーダーシップに関する共通教育授業（リーダーシップ関連授業）、③「学生リーダーズ・サマースクール」、「学生サークル・リーダー研修会」等の各種スキルアップセミナー、④身につけた理論や知識を実践する ELS プロジェクトから成る複合型教育プログラムです。



## ELS の重視する学びの3要素

ELS では、学びの3要素として Reflection と Knowledge、Practice を取り上げ、3要素それぞれにその要素を集中的に学習するプログラムを設け、他の要素とも有機的に絡めることで学習者のペースと求める機会に応じて、誰でもいつでもこの ELS に関われるように配慮しています。

具体的には、Reflection 中心のプログラムが「ELS セミナール」であり、定員を絞った少人数指導に加え、個々人にあわせたフィードバックを中心に構成されている。Knowledge 中心のプログラムとしては、「リーダーシップ関連授業」や「リーダー研修会」といった、集団での知識や理論について学ぶプログラムがある。そして Practice 中心のプログラムとして、「ELS プロジェクト」があり、企画立案から運営、振り返りまでのプロジェクト学習を行っています。

<b>Critical Friend</b>	<b>Be Alert</b>	次のリーダーを育てよう
フィードバック リアクション	謙虚さ 真摯さ	走りながら 考えろ
失敗は許されるが 手抜きは許されない		学生リーダーに 伝えたい 7つの言葉

## ELS プログラムの概要

### 1 ELS セミナール

①ゼミナール  
毎週木曜日150分 (18:30-21:00) の授業を15回開講し、受講者には2単位を認定する正課プログラム。学部生はもちろん、修士課程の学生まで全学部・学科の学生が受講可能。定員は各期20名。これまで350名を超える修了生を輩出しています。

②ELS 合宿研修  
毎期1泊2日で実施。ELS受講生には、合宿研修のスケジュール、宿泊先との事務連絡、コンテンツを提供する教員との報告・連絡・相談・確認等、実社会においてプロジェクト推進中に必要となる基礎的な力を養成する機会となります。

③リーダーシップ関連授業  
共通教育科目として開講される単位認定プログラム。1・2回生が主対象ではあるが、高年次履修を推奨し、ELS の導入の科目 (初級レベル) に位置づけられる。  
【2018年度～開講科目】  
「ファシリテーションとリーダーシップ (EFL) 」  
「グローバル・リーダーシップ1」 「グローバル・リーダーシップ2」  
「倫理と思想を考える (ライフマネジメントとセルフリーダーシップ) 」

④スキルアップセミナー  
「学生リーダーズ・サマースクール」に代表される非単位認定プログラム。1泊2日もしくは2泊3日の集中合宿形式で開講される中級レベルの研修。参加対象は、大学内のサークル、ゼミ等でリーダー的役割を担っており、そのスキルを磨きたいと思っている大学生。または、これからリーダー的役割を担う予定がある大学生が主な対象。  
【主な学習テーマ】  
「リーダーシップ論」 「チーム・グループコミュニケーション」 「効果的な新人確保法」 「会議の進め方」 「アルコール、セクシャルハラスメント防止」 「人間関係調整法」

⑤ELS プロジェクト  
ELS ゼミの修了生が、身につけたスキルを活かし実施する大学公認のプロジェクト (非単位認定プログラム)。プロジェクトにおけるリーダー経験とリーダーシップ関連授業の受講等規定の要件を満たせば「愛媛大学リーダーズ・ライセンス」が学長から発行される。  
【これまでの実施プロジェクト】  
「学生による24時間テレビの企画・運営」 「松山のリーダー松山市長との座談会」  
「章光堂プロジェクト」 「A-NATION プロジェクト」 「日本・韓国リーダー交流会」  
「愛媛 FC 応援プロジェクト」

## ELS の目標

- ELS の受講を通して
- ① 所属組織 (授業やゼミ、サークルなど) の様々な問題を解決できるようになり、その経験を通して人間的に成長できる。
  - ② 一般学生と協同し、所属組織を活性化させることができる。
  - ③ 卒業後もリーダーシップを発揮することで地域社会に貢献することができる。

これらを可能にするリーダーに求められる能力として、以下のものを全プログラムを通じて継続的に養います。  
●リーダーシップ・マインド ●アクション力 ●チームワーク力  
●セルフ・リーディング力 ●市民性/社会性

## ELS における教育方法

- ① スタッフによる観察・助言 (タテのつながり)
- ② 学生同士による振り返り (ヨコのつながり)
- ③ 自らの振り返り

→自己省察による行動変容へ



## ELS の評価方法

- ① 受講者を対象としたアンケートによる満足度・到達度調査、プログラム評価。
- ② 愛媛大学「リーダーズ・ライセンス」を認定する際には、資格認定委員会において、個別面談を含む厳正なる適正評価。
- ③ 本取組の二次効果、三次効果の成果も把握するため、休退学者数等、学生生活に関わる基本データの経年変化分析。
- ④ 修了生に対するフォローアップ講習を通して、実社会におけるリーダーシップ発揮度の測定。
- ⑤ 「米国高等教育基準向上協会」が作成した「学生リーダー養成のためのガイドライン」との照合。

現代社会にはリーダーが必要だ。本取組による学生支援を継続し、多くの学生がリーダーとして巣立つ時、大学が変わる、地域社会が変わる、そして、日本が変わる。

